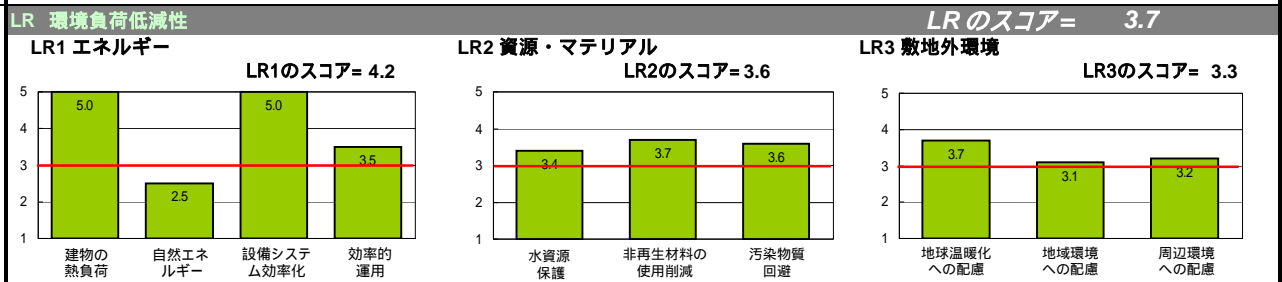
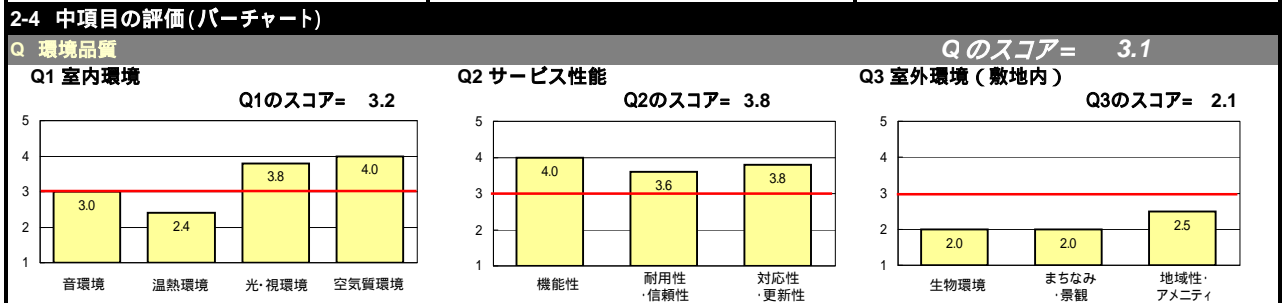
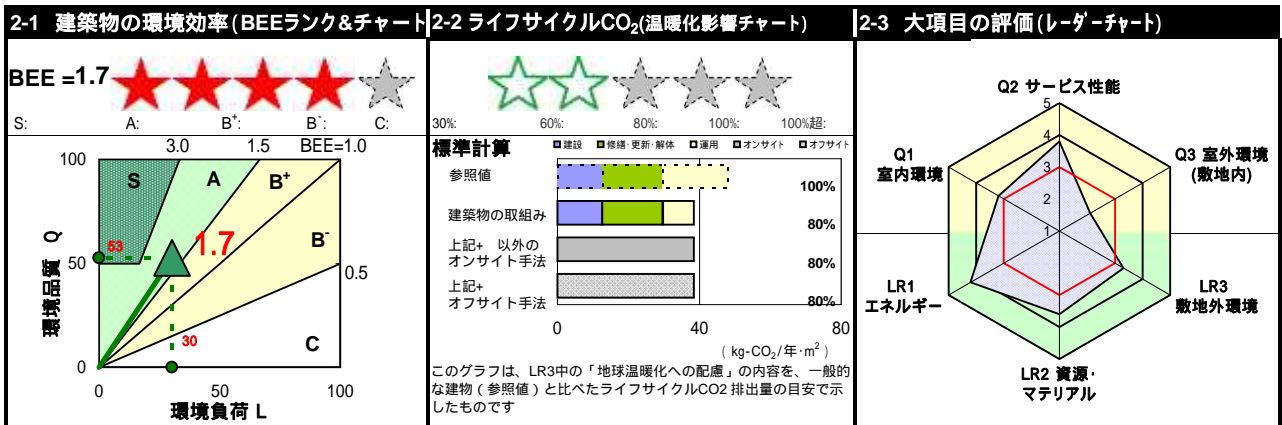


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	座間高校東棟新築工事	階数	地上4F
建設地	神奈川県座間市入谷2-262 外57番	構造	RC造
用途地域	準防火地域	平均居住人員	950 人
気候区分	地域区分	年間使用時間	4,300 時間/年
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年3月 予定	評価の実施日	2012年3月9日
敷地面積	3,842 m ²	作成者	株式会社ユニパサル設計
建築面積	1,538 m ²	確認日	2012年3月9日
延床面積	5,779 m ²	確認者	株式会社ユニパサル設計



3 設計上の配慮事項

総合	その他
<p>環境への配慮、省エネルギーを軸に生徒が学習できる、より良い空間設計を計画している。</p> <p>より良い空間設計を計画することと平行し、イニシャルコスト、及びランニングコストの低減も考慮している。</p> <p>学校の利用・運営側の立場に立った多角的な比較検討を行い、将来的に予想される学習環境の変化に対応できる空間づくりを計画している。</p>	0
<h4>Q1 室内環境</h4> <p>外壁・屋根の断熱材を強化し、外皮性能を上げている。</p> <p>昼光率を高くし、室内を明るく保っている。また、空気質環境を高めるためにF 建材を、ほぼ全面的に採用し、全館禁煙にするなどの配慮をしている。</p>	<h4>Q2 サービス性能</h4> <p>耐震性を高め、積載荷重にもゆとりをもたせている。階高、天井高を高くし、空間にゆとりをもたせている。</p>
<h4>LR1 エネルギー</h4> <p>外壁・屋根の断熱材を強化により熱負荷を軽減し、また、高効率機器を採用している。</p>	<h4>LR2 資源・マテリアル</h4> <p>自動水栓を採用するなど、水資源の保護に配慮をしている。リサイクル材を3品以上用い、再利用できるユニット部材として、移動間仕切り、O Aフロアを採用している。</p>
	<h4>Q3 室外環境 (敷地内)</h4> <p>平面形状をアルコープとし中庭を設け、風や光が通り抜ける開放的な空間をつまぐ内部空間と連続させている。また、空調機の室外機を屋上に設置するなど、敷地内温熱環境の向上に努めている。</p>
	<h4>LR3 敷地外環境</h4> <p>自転車置場を昇降口付近に設け、十分な量の駐車スペースを確保し、出入口は交差点から離し周辺道路の渋滞緩和に配慮している。日常的に発生するゴミの種類や量を推計し、ゴミのストックスペース、分別回収容器・ボックスの設置を計画している。</p>

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)

「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい